

カナダにあるフランス!?

McGill University, Montreal, Canada

藤田 諒

非常に広大な土地を誇るカナダには10の州と3つの準州があり、私が所属するMcGill (マギル)大学はケベック州のモントリオールにあります。ケベック州は其中で唯一フランス語が第一言語とされている州であり、そしてカナダ第二の都市でもあるモントリオールはパリに次ぐフランス語圏として知られています。そのため、街中の至る所でフランス語が目につき、公共交通機関のアナウンスはもちろんフランス語、お店に入れば挨拶はもちろん「Bonjour! Hi!」です(Hi! Bonjour!の順での挨拶はご法度です)。でもご安心ください。モントリオールに住む多くの人はフランス語と英語のバイリンガルで、Hiと返事を返せば、すぐに英語に切り替えて話してくれます。またこの街は現在もフランス文化の影響を色濃く残したヨーロッパ調の石畳の街並みや歴史的建造物があるため、旧市街を歩けばまるでヨーロッパにいるような気分。一方でダウンタウンには近代的な建物が多く並び、モントリオールはまさに過去と現在を融合したような北米のなかでも独特な雰囲気と魅力をもつ街となっています。

また世界的に有名なジャズフェスティバルやモントリオール映画祭、さらにはシルク・ドゥ・ソレイユの本拠地にもなっており芸術も盛んです。夏には毎日の



写真1 モン・ロワイヤル公園の様子
休日はBBQや日光浴をする人々で賑わう。

ように街の至る所でフェスティバルが行われ、人々はモントリオールの短い夏を野外で全力で楽しみます。街の中心部に盛りあがる丘、モン・ロワイヤル公園には夏になるとBBQや日光浴を楽しむ人々が集まり市民の憩いの場となっており、私も妻や友人たちとピクニックによく出掛けています(写真1)。さらにモントリオールから車や電車で1時間も走るとカナダの大自然をみることができ、秋にはカナダの国旗にも描かれるメープル(カエデ)の紅葉を楽しむことができます。

そんな魅力が多いモントリオールですが、冬は一変して極寒です。こちらにきて1日の最高気温がマイナス20℃という日が続いた年もありましたし、車が雪で埋まったり、最低気温がマイナス30℃に到達した日もありました。最初は寒くて冬は家に閉じこもるというイメージでしたが、このような厳しい寒さと雪深いなかでもモントリオールの人々たちはスノーシューを履いてモン・ロワイヤル公園の森のなかを散策したり、

Ryo Fujita. Ph.D.

Post-doctoral Fellow,
Department of Human Genetics, McGill University
Lady Davis Institute for Medical Research
3755 Côte Ste-Catherine Road, Montreal, QC H3T 1E2
E-mail: ryo.fujita@mail.mcgill.ca

現所属(2月以降):

Assistant Professor,
Faculty of Medicine, University of Tsukuba,
1-1-1 Tennoudai, Tsukuba City, Ibaraki, 305-8575, Japan
Email: fujiry0714@gmail.com